



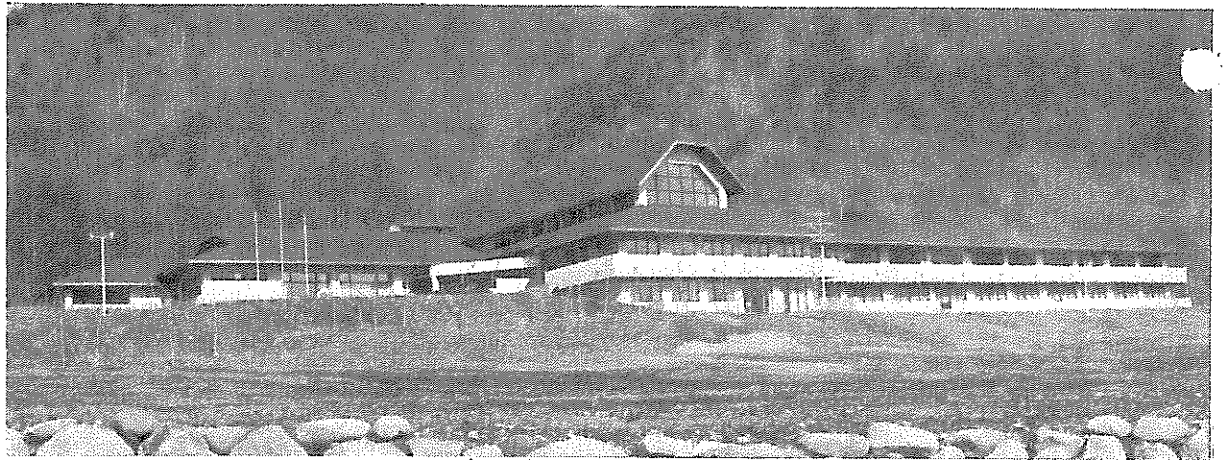
# 練馬区体育協会 ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

創立 昭和24年10月(1949)

第12号

発行 昭和55年 5月 1日



陽春に輝く、少年自然の家

## 区立武石少年自然の家 四月十日盛大に開所式挙行

五十三年五月の建設決定より、二ヶ年「区立武石少年自然の家」が完成、オープンした。

区の施設としては、蛸井沢・下田につぎ三ヶ所目となった。

所在地

長野県小県郡武石村大字上本入

字内の山・二四六九

敷地面積 六四、六二九㎡

建物面積 三、七〇四㎡

構造 鉄筋コンクリート造

三階建

総工費 七億三千六百五六万円

内容 二十六室、二六四名

研修室一・保健室一

体育館

バスケットコート

バレーコート各二面

バドミントンコート

三面

卓球台 五台

食堂 三〇〇名収容

利用

区内の小・中学校の移動教室

・林間学校等の学校単位利用

・少年団体・社会教育団体の利用

・一般区民は右の利用に支障のない日。十五名以上の団体利用が原則

申込

二ヶ月前より区教育委員会にて受付

小学生 三食付一、五〇〇円

中学生 〃 一、七〇〇円

一般 〃 二、三〇〇円

交通

信越線、大原駅か、上田駅から興業行バス使用、徒歩十五分

この施設は、上田・松本・下諏訪の中間点に位置し、後方に武石峰、茶臼山、物見石山が連なる。

この峻線、標高二〇〇〇米に、有名な「美ヶ原高原」の白樺高原が展開する。白樺の林についで高原植物の咲きみだれるお花畑、アルプス連山から秩父山脈まで一眺め、すばらしい景色が見られる。

春の新緑、夏の高原植物、秋の紅葉、冬のスキーと四季を通じて自然を満喫出来る。

施設は一階に十室、二階に十室の宿泊室、一、二階に各三室の指導員室、

入口大ホールの右手に体育館

左手に大食堂、三階に研修室

(七十名収容)

他に降雪設備、気象観測用具等もあり、利用者の目的に充分応じられる内容を完備している。

昭和五十五年定期総会

事業計画・予算案等を承認  
水泳連盟・再建完了

区体協、定期総会は四月九日(水)午後七時より、区教育委員会、会議室に於て開催され、執行部案が討議された結果、原案通り承認された。

一、報告

- 1 区スポーツ少年団本部の発足
- 2 区水泳連盟の再建発足
- 3 昭和五十四年度 決算報告
- 収入 三、七三二、五八一円
- 支出 三、四二〇、六八四円
- 繰越金 三二〇、八九七円

二、協議事項

- 1 事業計画(主なるもの)
- 第三十三回東京都民体育大会  
五月～六月 参加
- 第五回区体協幹部研修会  
六月十四日 所沢
- 第三十三回練馬区民体育大会  
八月～二月 二十二競技
- 総合開会式 九月十五日
- 第二回加盟団体幹部講習会  
十一月
- 体協関係者、新年会 一月
- 共催事業 一〇種目
- 区民教室 一五種目
- 2 予算案
- 収支、三、九二八、〇九七円
- 3 加盟申請団体

練馬区自転車連盟(白井滋)  
一ヶ年間は仮加盟とする。

- 4 東京都体育協会からの表彰
- 団体 区相撲連盟
- 個人 台田友夫(陸上)
- 5 新役員
- 常任理事 藤井和雄(水泳)
- 理事 廣瀬 守(弓)
- 遠藤英行(ライフル)
- 中村 水(バドミントン)
- 山田一男(水泳)
- 萩原誠一(水泳)

任期は残任期間一ヶ年  
6 区自転車連盟の加盟について  
協議の結果  
仮加盟と決定する。

代表、白井滋  
所在地 練馬区春日町三ノ三ノ七  
加盟団体数 二十二団体  
仮加盟 二団体  
区スポーツ少年団本部 計二十五団体

練馬区水泳連盟・再建発足  
会長に上野定雄氏が就任

水泳連盟の再建を、創立三十周年記念事業としてとりあげた本協会は、昨年より準備委員会を設置、関係各方面に呼びかけながら、その準備をすすめて参りました。

区内の水泳愛好者、スイミングクラブ、温水プールの自主グループの代表が之に参加。去る四月七日区教育委員会、会議室に於て、再建委員会が開催され、新発足が決定した。

- 役員構成
- 会長 上野定雄(区議会議員)
  - 副会長 上野栄光(田柄SC)
  - 理事長 藤井和雄(都立杉並高)

練馬区スポーツ少年団本部発足

本協会は、創立三十周年記念事業の、区スポーツ少年団の設立のため、その中心となる少年団本部の準備委員会を昨年九月発足した。少年競技を統轄する十二競技団体の代表、区体協、総務、事業部の代表により構成、本年二月までの間、五回にわたり会議を行い、その準備をすすめた。

- 副理事長 山田一夫(田柄SC)  
三井俊介(日本赤十字)  
会計理事 志田 宏
- 理事 田村伊都子 小松充明  
高林雄次 水野 清  
鳥山弥生 沼田澄子  
茨田 忍 香名文枝  
福喜紀子 土屋紗紗子
- 監事 渡辺信由  
理事(事務局長) 萩原誠一  
事務局 練馬区田柄二ノ三九ノ一  
田柄スイミングクラブ内  
TEL 九三九一〇〇二一
- 本部長 矢崎久雄(区議、区文教委員長、区体協、会長代表)
- 副本部長 中野澄男(教育委員会次長)  
井口鏡曹(区青少年委員会)  
野口嘉郎(区体協)
- 常任理事 寺崎 武(区体協)  
山下 誠(区体協)  
本間弘一(サッカー協会)  
小宮太郎(少年野球連盟)  
新保光春(体育指導委員会)

電気設備工事 ・ 自動火災報知設備工事

三 立 電 気 (株)

代表者 横山鉄治

東京都練馬区石神井3-8-4 TEL 995-0008

。会計理事  
篠田忠征  
(教育委員会)

。監事  
下村 緑  
(パドミンソン協会)

日下一男  
(指導員リーダー協)

。委員  
山本俊治  
(バレーボール)

横山鉄次  
(空手道)

加藤春雄  
(陸上競技)

鈴木輝男  
(相撲)

小林剛男  
(軟式野球)

浅野哲男  
(柔道)

塩田典男  
(バスケット)

勝木 敏  
(ラジオ体操)

鎌田康男  
(指導者リーダー)

立石勝彦  
( )

他に、委員名未定団体  
青少年委員会より 一名

石泉少年野球連盟より一名  
剣道連盟より 一名

水泳連盟より 一名  
区体育指導委員会より一名

現在、各競技団体、各社会団体を  
通じ、加入促進を図ると共に、そ

の状況の掌握をすすめている。四  
月、五月を体制づくりにあて、六

月二十日の結団式を予定している。  
練馬少年野球連盟、サッカー連盟

所屬の少年チームが積極的に加入  
を申し出て来ており、明るい見透

しを感している。

五十四、度・区少年サッカー後期リーグ

一部、石東スポーツ少年団  
二部、早宮少年スポーツクラブ優勝

十二月八日より、三月二日の間、  
中大グラウンド跡地に於て開催され

ていた、少年サッカー後期リーグが  
無事終了した。

一部 八チーム  
二部 十六チーム

主催 区サッカー協会  
区体育協会

一部リーグ  
1 石東スポーツ少年団

七戦 六勝 一敗  
2 中西バーバリアンSC

七戦 五勝 一分 一敗  
3 豊二SC

七戦 五勝 一分 一敗  
4 (ゴール数による)

4 上北Sスポーツ少年団  
七戦 三勝 三分 三敗

5 大一小サッカーC  
七戦 一勝 三分 三敗

南町キッカーズ  
七戦 二勝 一分 四敗

二部リーグ  
準決勝

リーグ/Aリーグ  
早宮2 2-0 O橋戸

リーグ/Aリーグ  
石台I 1-0 O学大附

0-0

決勝

早宮 1-0 石台  
SC2 1-1 SC

厳寒の三ヶ月間、参加全チーム、  
関係者の協力により、無事終了す

ることが出来たことは本場に喜ば  
しい。少年間へのサッカー競技の

普及はめざましく、参加チームも  
増加、特に二部リーグは予選リー

グ、二組の上位二チーム間での決  
勝リーグとなった。

今後、なお増加すると見られるた  
けに、本リーグ戦の運営を再検討

せざるをえなくなるだろうと思  
います。

三部リーグ設置も、その方法とし  
て考えて見たい。

第一回 区杯争奪練馬区バレーボール選手権大会

一般男子ひまじん会・女子芙蓉クラブ  
家庭婦人・練馬クラブが優勝

区バレーボール競技の年間、三部  
門チャンピオンを決定する第一回

大会は、二月十七日(二会場)二  
十四日(二会場)三月二日(暫立

大泉北高校)九日(同上)の四日  
間にわたり、男子十二チーム、女

子四チーム、家庭婦人四十チーム  
が参加して開催された。

主催 区バレーボール連盟  
区体育協会

後援 区教育委員会  
一般男子の部

1 ひまじん会  
2 石神井東中学OB

3 練馬中学OB  
一般女子の部

1 芙蓉クラブ

2 北町クラブ  
3 練馬区役所

家庭婦人の部  
1 練馬クラブ

2 高松クラブ  
3 N.K.C

山田新会長が就任して一年、連盟  
の新事業として、本大会を設置し

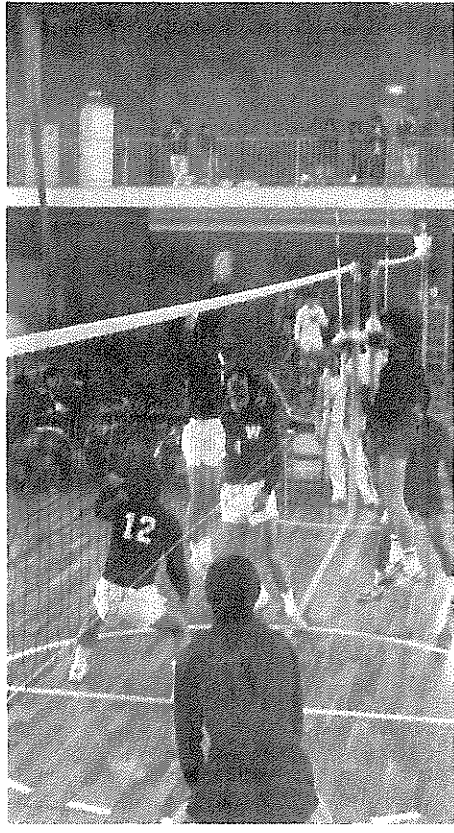
た。年度の輝尾を飾る大会として  
三部門の区チャンピオン決定競技

会とした。区総合体育館の使用が  
出来なかったが、山田会長の努力

により、都立北高校の新装体育館  
を使用、盛大に開催することが出

来たことは喜ばしい。  
バレーボール連盟の運営も、三本

の柱が出来、軌道に乗ったと云え  
よう。(野口)



男子一般決勝戦

第一回練馬区ネットボール大会

一部 若竹ファイターズ  
 二部 ホワイト・コンドルが優勝

区内、女子小学生間に普及して来たネットボール競技（バレーボールとドッチボールをミックスした球技）を、初の大会として実現をはかるPTA関係者より、区



左より 準優勝の若竹レディス、優勝の若竹ファイターズ

主催団体名で、壁にぶちあたった関係者の苦悩を、見るにしのびず本協会、常任理事会はとりあけることとなった。

区スポーツ少年団の設立を進める本協会は、異例ではあるが、前向きな姿勢をとり、この大会の主権を決定、関係者と協力、三月二十日、区総合体育館に於て、開催、大成功を収めた。

参加 一部 ハチチーム（六年生）  
 二部 セブチーム（五年生）

主催 区体育協会  
 主管 区スポーツ少年団本部  
 後援 区教育委員会  
 成績 一部

1 若竹ファイターズ  
 2 若竹レディス  
 3 ホワイト・エンゼル  
 二部  
 1 ホワイト・コンドル  
 2 すずしろ B  
 3 シルバー・シャーク

第三回練馬区バドミントンオープン選手権大会

一部男子 茂木・石黒組  
 女子 白壁・稲垣組が優勝

区内選手に加えて、区外から優秀選手を招聘し、毎年三月開催して来た本大会も三回を数え、三月三十日（日）総合体育館で三〇〇名が参加して開催された。

主催 区バドミントン協会

区体育協会

後援 区教育委員会

成績

。男子一部

- 1 茂木・石黒組（安田火災）
  - 2 小林・後藤組（都庁クラブ）
  - 3 村田・野中組（羽桐会）
- 選勝・藤平組（KDD）
- 。男子二部
- 1 丹羽・正田組（栄賢）
  - 2 河野・伊藤組（羽桐会）

3 岡田・吉村組（田柄）  
 福島・後藤組（区役所）

。女子一部

- 1 白壁・稲垣組（二般）
  - 2 中村・松本組（二般）
  - 3 岩沢・岩沢組（南）
- 橋本・福本組（二般）

。女子二部

- 1 鹿子木・田村組（羽桐会）
  - 2 荒井・田谷組（大泉北）
  - 3 石井・竹内組（南）
- 長野・高橋組（武蔵ヶ丘）
- このオープン選手権大会も三年目、区外からの参加も定着し、高度な技術が見られるだけに、この大会の占める意義は大きなものがある。
- （野口）

吉田接骨院

練馬区桜台 1-44 TEL 991-5788

(株) オンワールド商会

すぐれた音響機器と、スポーツ用品を!!  
 代表取締役 原 康 男

〒104 東京都中央区銀座 4-14-11 77ビル TEL (545) 2171

# 大樹のために根を伸ばそう

野口嘉郎

昨年、創立三十周年の大事業を

役員、加盟団体関係者の協力により成功させることができた。

また、三十周年を契機としての事業として、

加盟団体会長会の発足

区水泳連盟の再建

区スポーツ少年団の設立

も、机上のものから、現実のものとする事ができた。昨年、区ラジオ体操連盟が加盟、本協会も二十四団体（仮加盟二団体をふくむ）とその世帯も大きく飛躍した。

社会体育の責務を荷う本協会の任務は重く、年々広くなってきている。ここに昨年、記念誌に記した内容をもう一度ふりかえってみたい。

◎「加盟団体の充実と組織指導力の強化」これは、

各団体への助言、指導により、若干不安のあった団体も軌道に乗ってきた。もう一步の所に、一、二の団体がみられるが、之も時間の問題の所にまで到達したと言えよう。

◎「加盟全団体の融和と協調」

三十周年記念事業の成功を見てわかる通り、練馬体協一家とまじまった。毎年の幹部研修会、関係者新年会の大盛況が、之を

物語っている。

◎「全競技の区民スポーツとしての普及と浸透」

◎「地区体育会設立への体制」

区民教室の指導担当、開放事業への指導協力、区民体育大会、各種目の主催、各種大会の開催と順調にその成果をあげてきた。

又、スポーツ少年団本部の発足により、少年スポーツへの積極的な取り組みで、区内の少年少女の層へも本体協は浸透を開始した。

二十四競技と、少年スポーツとのドッキングにより、地域割りの基盤も出来てくる。

本協会の次の目標である、地区体育会への取り組み時が来たとも言えよう。

◎「運営資金の確保と人間構成」資金と人材、これが何と云っても原動力だ。この両者の同時回転はとむずかしいことはない。

義務づけも、ノルマもないだけに、いずれも之を荷う人の問題になってくる。執行部には、企画力は勿論のこと、年間事業に動く体力、之に加えて、

放棄・退歩のない強い精神力上記の三点が求められる。言葉の上では簡単だが、人には

それぞれ生活があり、感情があるだけに、執行部のための資力が平行しなければならぬ。

六、七年前の体協予算を見た時、武器を持たずに戦いを挑む集団、かの如き感じがした。これらのむずかしい問題を乗り越えない限り、花は咲かない。

幸い、現在の体協には、教育委員会の全面協力、そして、新たな助力として、発足した、会長会は大きなウエイトを占めている。

よき理解者、協力者をえて、体制づくりが出来、始めて仕事が始まる。

昭和五十五年度を迎え、大きな背伸びを計る前に、そのための根をしっかりと張りつめたいと考えておきます。

関係各方面のご理解と、全役員、全加盟団体の進んでのご協力を紙上よりお願い申し上げます。

(野口)



## 第一区体協 幹部研修会

日時 昭和五十五年六月

十五日 午後二時集合

十六日 午前十時開散

場所 所沢市三ヶ島一ノ一六八

宿舎 市営・国民宿舎 湖畔荘

参加 体協・全役員

各団体は二名の参加を基本とする。

経費 一名 五二〇〇円

(案) 内体協補助 二〇〇〇円

個人負担 三二〇〇円

内容 一日 午後二時(現地集合)

開会式

研修分科会

1 区スポーツ少年団の結成

と今後の運営について

2 地区体育会設立と推進

について

午後六時三〇分

懇親会

2日 午前八時三〇分

全体会議

今年、加盟二十四団体の全代表の参加を計り、研修テーマを中心に充分討議を行うため、近距離の場所を選定し、時間も従来より一時間早めました。

ご多忙中とは存じますが、年一回の全団体代表のコミュニケーションの機会です。必ず代表の参加をお願いいたします。

真 栄 整 骨 院

練馬区旭町 3-32-19 TEL 930-4755

佐 久 間 接 骨 院

練馬区高松 1-9-10 TEL 999-9830

世界へ翔ぶ・練馬の星

ローリースケート・及川和子選手  
全日本女子フィギュアに四連覇

昭和五十二年、日本代表として、初の世界選手権大会(モントリオール)に出場、昭和五十四年には西独・アルテナーでの世界選手権に出場した及川和子選手に、十年のスポーツ生活と夢を語ってもらった。

プロフィール  
出身地・現住所 練馬区早富四一〇・二三三  
出身校 都立練馬高等学校  
勤務先 日本電信電話公社  
年令 二十二才  
身長 一六〇cm



体重 五四kg

ローリースケートを始めた動機は、

近くにゐる豊島園に遊びにゆき初めて滑るのが小学生四年十才(一)の時です。滑っているうちに、すっかり、その魅力にとりつかれ、クラブに入りました。

◎学校は、

区立練馬東小学校から、区立開進第一中学校、都立練馬高等学校を出、現在の電々公社に就職しています。

◎主な戦歴は

公式競技会としては

昭和五十一年(高校三年)第二十四回全日本選手大会

女子フィギュア競技に優勝

以来、四ヶ年連続優勝

その他

東日本選手権大会 四回優勝

全国フリー大会 四回優勝

◎世界選手権大会は

第二十二回(カナダ・モントリオール)に出場 第二十一位

第二十四回(西独・アルテナー)に出場 第二十位

◎目標は、

今年・九月・コロンビア・ボゴタで開催される第二十五回世界選手権大会に出場、世界各国から参加する全選手(約三十数名)の上位以上の成績を収めたいと思っています。又、連盟三十年の歴史の中で、

全日本選手権大会・八年連続優勝の日本記録に挑戦してみたいと考えています。

日本記録

河野貴美子選手(現宮坂)

が持つ八年連続優勝。

現在及川選手は、電電公社に勤務(大手町)してある関係から、一般勤務に比べ、規則的な時間勤務

にあるが、逆にこれが幸し、早朝練習、夜勤明けの休日利用での練習と、仕事外の時間のほとんどを練習にあてている。使用リンクは、後楽園、運動速上であり、その点も恵まれている。

女子選手としては、日本で初めてWジャンプを完成し、男子に劣らぬスピードとジャンプ、加えて、キャメル・トラベリングと内容も豊富だけに、現在の処、女子フィギュア競技会では敵なしの独走体制をとっている。

残された課題は、規定(コンパルソリー)で緻密な神経をもつ一歩使い、ターンの位置、弧に、切れに正確さが要求される。フリーでは、柔軟性、特に、膝・足首を充分に生かした美しさが、そして、

現在取組んでいるWジャンプの、一〇〇%の確立をふくめ、余裕をもって四分間を滑走できる体力と精神力がほしい。

恵まれている環境、体力、史上最高のチャレンジとして、実績を残して

◎今後の夢は、

世界選手権大会で自分の納得できる演技で、一〇〇%の力を発揮し、その答えを求めたい。

出来れば、夢かもしれないが、「ロスアンゼルス・オリンピック」にもし、ローリースケートが、デモンストレーション種目として採用されれば、出場してみたい。

又、アジア選手権大会が近々に企画されている様なので、初代チャンピオンに挑戦したい。

女性だけに、結婚への夢も勿論持っています。しかし、今は、

全てを忘れ、自分の全青春をかけたローリースケート、フィギュア選手として、ベストをつくし悔のない選手生活を送ることを考えています。

将来は、自分の夢を託す、後輩の指導にあたり、世界の上位をねらう選手の育成をしてみたいと思えます。

十二ヶ年の永い苦難の選手生活を突らせるのはこれからです。それには、一にも二にも気力と根性。

頑張れ及川選手!

東京都練馬区中村北一一九

練馬区体育協会

代表 小口 政雄

編集 野口 嘉郎

TEL 九九三一一二一一 767